

事業報告

<b>全体会</b>			
テーマ	「結」笑顔で未来をつくる ～子どもと一緒にウェルビーイングの実現を信州から～		
趣旨	現代社会では多様性が広く認知されつつあります。しかし、その中で自分の居心地のいい場所を持っている人はどのくらいいるのでしょうか。他人と違うから、やらなきゃいけないから、といった理由で自分らしさを出せない環境に苦しさを抱えている人がいるのではないのでしょうか。 参加者の方に「そのままでもいいんだよ」というきっかけを見つけて頂く事が本大会の目的です。		
会場	ホクト文化ホール(大ホール)	運営担当	長野市PTA連合会
参加人数	1118人	子ども参加者数	123人

担当副実行委員長	須田 恭徳	運営委員長	原田 達矢
----------	-------	-------	-------

全体会総括

まず研究委囑発表として「居心地のよい」PTA活動の条件と題し、令和5年度山王小学校PTA会長の添谷芳久様による発表を頂きました。  
次に「子どもたちと地域のウェルビーイングの実現に向けて」をテーマに長野県教育委員会武田教育長、長野県PTA連合会城村会長、中学生3名によるパネルディスカッションが行われました。  
全体会を総括すると、まず研究委囑発表では引き続き子どもたちの参画として、長野市立昭和小学校の金管バンドによる演奏を行いました。最後に基調講演として、放送作家野々村友紀子様による「強く生きるためのヒント」を題名とした講演が行われました。

総括しますと、研究委囑発表ではPTA活動におけるウェルビーイングを伝えることが出来ました。またパネルディスカッションでは、武田教育長のユーモアや城村会長のやさしさ、また中学生たちの堂々と自分の意見を発表する様子に参加者からは「感動した」「勉強になった」との声を多くいただきました。

子どもたちの参画であった昭和小学校金管バンドにおいては、子どもたちの真剣な表情と素晴らしい演奏に会場が大きく沸きました。基調講演では参加者と同じように子育てをしている野々村さんから、子育てや夫婦の悩みや葛藤をユーモアを交えお話しいただき参加者からは大きな笑い声がひびき、同意するうなずきが多く見られました。

各セクションを通じて「ウェルビーイングの気づき」を得ることが出来た全体会であったと感じました。

参加者の皆さまの写真



城村大会長挨拶の写真



ジュニアサミットの写真



アルクマも参加の写真



武田教育長も参加ジュニアサミットの写真



ジュニアサミット参加の生徒たちとの写真



長野市立山王小学校研究発表の写真



野々村友紀子さん講演会の写真



野々村友紀子さん講演の写真



長野市立昭和小学校金管バンド



大会終了後の実行委員会の皆さんの写真





